

WE LOVE とよた ふるさとの川づくり 始まっています

小川が抱える問題



土砂がたまり、草が生えた川



浚渫した川

※浚渫（しゅんせつ）とは、川にたまった土砂を取り除くこと



河川課

「川に土砂がたまって草が生え、大雨のときに水が流れにくくなってしまふ。しかし、浚渫[※]するにも費用がかかるし、生き物への配慮も必要だ。土砂が自然の力で流れるような川づくりはできないだろうか。」



住民

「浚渫してくれるのはいいけど、何年かたったら、また土砂がたまってしまふのではないかな。豪雨も増えているし、川があふれてしまわないか心配だ。」



研究所

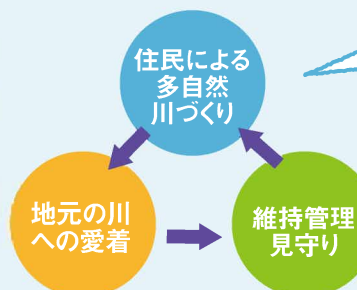
「小川をのぞきこんでも水面は見えないし、川で遊ぶ子どもが少なくなっている。自然が豊かで人が親しめる小川を取り戻すことはできないだろうか。」

みんなで力を合わせて解決しよう



土砂がたまりにくく、変化に富んだ川

段差を小さくし、魚が移動しやすい川



あたしたち（矢作川研究所）が
お手伝いします！



その川らしい動植物の
生息環境づくりサポート



活動に伴う住民意識変化
人づくりの研究



岩本川探検隊（川遊び体験）

MISSION ミッション 岩本川を体感せよ！



ハカセ

こんにちは、岩本川探検隊のハカセです！学校が夏休みに入ってく、探検隊が発足。岩本川で遊んで育ち、ボーイスカウト経験のある隊長を筆頭に、大人たちが若い親子の川遊びをサポート。「石の上って滑るんだ」「砂がサラサラ」「さかながいっぱい！」川に入れば大人も子どもも無い、みんな川ガキ。ハカセ的には仕事なので魚の名前を教えるけれど、何かを教える必要は無い。魚の名前を覚えなくても、青色の魚でいいし、白黒のドジョウで構わない。見て触れて感じたことはいつまでも心に残る、それでいいんです。

遠慮してちゃだめぞー



隊長



ふるさとの川づくりとは？

平成27年度に浚渫の予定があった河川のうち岩本川をモデルケースとして「ふるさとの川づくり」事業を試行しています。扶桑町自治会の皆さんとともにワークショップ（住民懇談会）、川遊び体験（岩本川探検隊）を開催し、岩本川の昔を知り、今を感じ、未来を描き、具体的な整備イメージを作成しました。今回は事業概要とこれまでの取り組みを紹介します。この成果をもとにして、今年度は住民の手によるふるさとの川づくりの実践に着手する予定です！岩本川のこれからに期待ください！

6月
第1回ワークショップ
岩本川の「今」と「これまで」

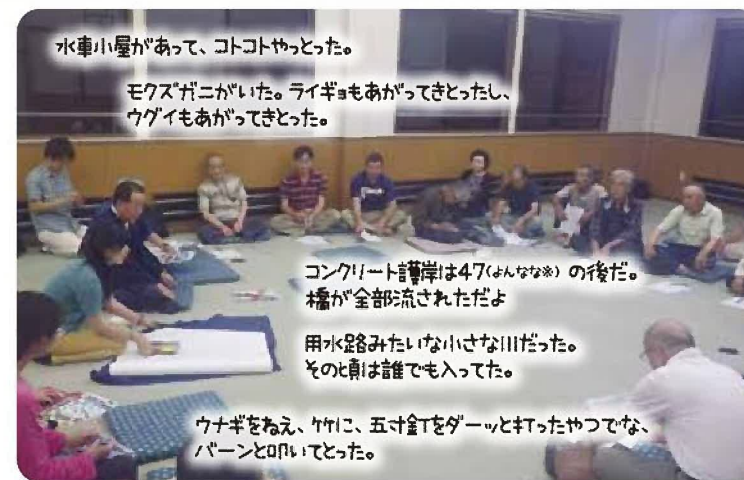
7月
岩本川探検隊

9月
第2回ワークショップ
岩本川の「これから」

10月
岩本川探検隊

12月
第3回ワークショップ
岩本川の「これから」を「どのように」

今年度
川づくりに
挑戦！！



水車小屋があって、コトコトやうった。
モクスガニがいた。ライギョもあがってきたし、
ウグイもあがってきた。

コンクリート護岸は47（よんなな）の後だ。
橋が全部流されたよ。
用水路みたいないくさな川だった。
その前は誰でも入ってた。

ウナギをぬえ、ヤケコ、五寸釘をダーッと打ったやつでな、
バーンと叩いてとった。

※昭和47年の洪水被害のこと

岩本川を語ろう！

●「ふるさとの川づくり」概要説明
●岩本川の思い出を語り合おう！

まずは情報共有。自治区や子ども会などの呼びかけで集まった住民が最初は少人数の車座、次に全員で大きな車座になって語り合った。

ゾーニングしよう
浚渫、自然再生、
水遊び、釣り、
観察などに分け
て整備する



川に降りやすく
しよう
はしご
階段

生き物が
たくさん
いる川に

土砂を流せる
工夫をしよう
落差の解消
水制工

安全への配慮・
学習をしよう
マムシ
深い

花見や紅葉
狩りがしたい

子どもが遊
べる川に

未来希望図を描こう！

●岩本川の夢を描こう！

今回も少人数に分かれ、噂々がくく。岩本川がどんな川になってほしいか考えた。大きな航空写真はアイデアを書いた付箋紙でいっぱいになった。

具体化しよう！

●住民と行政の役割を確認しよう
●何をどこで誰がするのか考えよう

未来希望図をもとに川づくりの具体的な内容と場所を検討。維持管理の体制も話題にのぼった。こどもたちは「岩本川でやりたいこと」を画用紙にクレヨンで表現。最後に大人たちに向けて発表会をした。



川にのぼるならこの場所がいい

そこを遊びの拠点にしよう

維持管理の組織が必要じゃないか

小学校なども巻き込んでいこう



釣り糸を垂らす子どもと網を持った子ども。

WE LOVE とよた ふるさとの川づくり

進んでいます！

山本 大輔・吉橋 久美子

ふるさとの川づくりとは？

防災のために行う浚渫（川底の土砂を減らす）工事に合わせて、住民のみなさんが中心となって地域の川を「つくり」、生物が棲みやすい場、子ども達の遊び場・住民の憩いの場となるように育んでいこうというものです。関連「水辺の小さな自然再生」⇒4ページ参照



岩本川の川づくりは3年目。地域に根を張りつつあります。

ふるさとの川づくりのモデルとなっているのが、市内の扶桑町と百々町の間に流れている岩本川。研究所は住民が主体的に動けるようサポートをしています。まず平成27年度に住民懇談会で昔の岩本川を語りあい、未来の岩本川の「希望図」を描きました（RIO No.199）。平成28、29年度は希望図をベースに川づくりに挑戦し、川づくりの団体も立ち上がりました。地域でも注目されているようです。そんな岩本川の現在の様子をご紹介します。

「岩本川創遊会」活躍中！

2016年6月



川づくり体験の打合せ
扶桑町・百々町住民と各子ども会にお集まりいただき、川づくり体験会のこと、川づくり団体の構想を話し合いました。

A

2017年5月29-31日

平井小学校5年生80人が川遊びを体験。



2017年3月

「岩本川創遊会」発足！

地元の有志で結成。川づくりと毎月の草刈り、子ども向け川遊び企画「岩本川探検隊」などを行っています。



事前相談
草刈りや当日の見守り等の協力

2017年7月15日

高橋交流館が生き物調査を実施。親子13組と大学生ボランティアが参加。



岩本川は地域の「お宝」に…

変化し続ける川を、時に見守り、時に積極的に働きかけながら活動は進んでいきます。

ふるさとの小川で自然再生中！

2016年7月17日

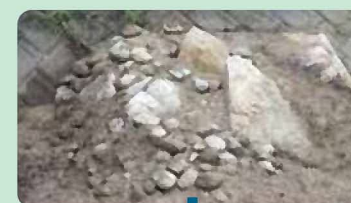
川づくりスタート！

地域の親子53人が参加



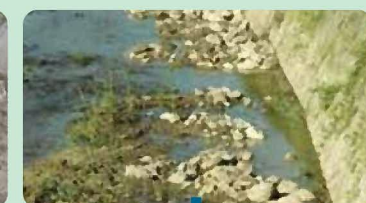
▶足場づくり

大きな石のまわりに小さな石と砂をつめて降りやすい仮足場ができた。



▶生き物のすみかづくり

川底をスコップで掘って玉石を入れた。深い所、浅い所、すきまができて魚がすみやすくなった。



▶魚道作り

大きな石と小さな石を並べてプールを作った。段差が小さくなって魚が登りやすくなった。



川づくりから1ヶ月。その効果を確認してみよう！（親子39人が参加）

川の「その後」



9月20日



▲石が流れてしまいました。上記魚道写真と比較



▲今度はどう組もうか



◀階段ができました。小さな子も安心して降りられます。



◀知らないうちに堰が作られていました。子どもも川づくり、しているようですね！



岩本川にはドジョウ、ニシシマドジョウ、ホトケドジョウがすんでいて、それぞれ好む生息環境が違います。「どのドジョウもすみやすい多様な環境があるといいね！」ということで今後の川づくりへの思いも込めたテーマになりました。（親子28人が参加）

こんなにたくさんの生き物がいるなんて！

3兄弟捕まえたー！

たのしー！



（やまもと だいすけ・よしはしくみこ、研究員）

2015 6月13日
第1回住民懇談会

2016 6月18日

川づくり体験会
説明会

2016 7月17日

川づくり体験会

2016 8月20日

岩本川探検隊
2016

階段ができた

2017 3月26日

岩本川
創遊会発足

2017 4月29日

川づくり

2017 7月22日

岩本川探検隊
2017